

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372002309
事業所名	グループホーム ふくろう

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域行事での「鬼祭り」などでは、鬼の立ち寄りなど地域との交流がある。母体の医療法人の長い歴史を活かした、地域交流がある。事業所での「ふくろう祭り」では、チラシでの案内など、地域に広く発信し、住民の幅広い参加がある。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 地域包括、市議員OB、民生委員、家族などで開催され、行事、活動報告、事業所の現況など、報告、意見交換など行われている。認知症の相談、消費税の増税に伴う相談など、幅広い課題について、時期に合わせた勉強、質疑応答など行われている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 日常的に、市担当窓口と行き来を行い、密接な連携を図っている。社会福祉協議会での研修に年4回参加がある。市役所と近接する立地を生かし、頻度の多い面会など、立地特性、顔の分かる連携交流を図っている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 意見箱の設置がある。推進会議に合わせ行事、食事会など行い、職員、家族、家族同志などの交流を図り、意見要望の出やすい環境作りを行い、ケアに反映している。推進会議では、ほとんどの家族の参加があり、面会時、行事時など個別、全体での意見要望の収集を図り、運営に反映している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎	○